

| | |
|------------------|---|
| Title | 昭和五十年度修士論文(国史学) ; 卒業論文(国史学専攻) ; 修士論文(東洋史学) ; 卒業論文(東洋史学専攻) ; 修士論文(西洋史学) ; 卒業論文(西洋史学専攻) ; 卒業論文(通信教育部) |
| Sub Title | |
| Author | |
| Publisher | 三田史学会 |
| Publication year | 1976 |
| Jtitle | 史学 (The historical science). Vol.47, No.4 (1976. 7) ,p.93(359)- 96(362) |
| JaLC DOI | |
| Abstract | |
| Notes | 彙報 |
| Genre | |
| URL | https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19760700-0094 |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

会 告

昭和五十年度三田史学会大会の総会において、常任委員会一任とされた会費値上げの件について、検討の結果、諸物価の高騰に抗し難く、一般会費を史学第四十八巻より

年間二千円（現千円）

に改訂することに決まりましたので、御報告することもに、よろしく御了承のほど願いあげます。

彙 報

昭和五十年度修士論文（国史学）

山岸 良一 南関東地方における弥生終末期の住居址について
遊佐 和敏 帆立貝式古墳の性格に関する若干の考察

高杉 博章 擦文文化の終焉
郷道 哲章 市河文書の研究

——北信濃に於ける在地領主制の展開——
荒井 晴夫 鎌倉初期政治史の研究
——文治国地頭・総追捕使制を中心にして——

徳田 秀子 紀伊国阿氏河庄における村落と農民

卒業論文（国史学専攻）

平尾 保弘 弥生時代の北九州に於ける甕棺墓の性格
家長 真理 弥生時代青銅器の製作に関する一考察

——特に「九州型」「大阪湾型」銅戈の計測値を中

心として——

山本 令子 貝庵丁——その効率と使用痕に関する考察
山田 昌美 邪馬台国——狗奴国と女王国との交戦——
仲小路彩乃 記紀の史実性と日本国家の成立
中村 みさ 天皇家の太陽神神話と王権

古見 充子 百済救援の政治目的に関する一試考

山野 真澄 神功皇后伝説の成立と女帝の本質

杉本 栄一 蘇我氏の本質と仏教受容について

水野 雄二 法隆寺再建をめぐる問題点

安達登喜枝 息長氏について

新山喜美子 古代における軍団について

細谷 恵子 藤原仲麻呂の政策

岩田美保子 大生部多事件からみた帰化人秦氏の特徴について

鷺谷 由美 市聖空也に関する一考察

佐藤由美子 土師氏の研究

渡辺 和子 玉虫厨子と七世紀の美術

北原 悅子 鉈彫について

廣田 求美 画聖雪舟

柳沢佐代子 川上不白について

飯塚 清子 古田織部

内田 洋子 上田秋成の煎茶の世界

平井理恵子 古代末期の史的位置

永井 康 文治元年十二月六日書状について

野田 和江 伊豆・相模国における伊東一族

坂口美保子 九条兼実の武士観

古川 敬士 賴朝以前の清和源氏による東国武士の支配について

草場 和子 北条執権政治小論——時頼とその時代——

松下みどり 牧野 裕子 神皇正統記をめぐる一、三の問題

鎌倉時代の女性に関する一考察

——婚姻形態を中心として——

間島 直子 徒然草における出家者

——吉田兼好の個人意識——

西村 嘉員 中世後期畿内農村の一考察

戸松 義晴 上井覚兼の信仰について

渋佐 直樹 武藏武士団の勃興と発展

鈴木世津子 里見氏の誕生から滅亡まで

山中 明子 豊長使節について

佐伯万喜子 キリストン史における奇跡

小柴富久子 江戸時代における侠客の一考察

——江戸前半期を中心として——

田中真理子 奥羽列藩同盟の結成と変遷

松本 直子 箱館戦争——榎本武揚脱走の原点——

橋本 進史 飯島 厚子 石橋湛山の普通選挙論について

鯨井 邦男 中川ひろみ 広島藩と鴻池に関する一考察

——鉄座と大名貸について——

室谷 玲子 我々いかに生くべきか

——高群逸枝その人と思想より——

修士論文(東洋史学)

篠川 陽子 セリム三世のニザム・ジユティートに関する一考察

鈴木 正崇 盆行事をめぐる民俗学的考察試論

——琉球波照間島の事例研究を中心として——

増子 曜美 ムアタジラ派とアル・マアムーン

武者 章 殿の社会

卒業論文(東洋史学専攻)

井手 マヤ 英字新聞を通じてみたるシンガポール社会の変化

浦田 一雄 福建省民信局について

大田垣 至 プリビロフ諸島におけるアレウト族の伝統的生活とその変化

木村 典子 十七世紀トルコにおけるギルドの実態とその機能について

卒業論文（西洋史学専攻）

今野 享 『国語』の歴史意識

——左伝の比較を中心に——

白岩 一彦 西モンゴル帝国のアナトリア支配について

——ドライとインジュを中心にして——

高居 晶子 十九世紀イランのギルドの衰退

——イスファハーンの織物業ギルドを

中心として——

高山 博典 前漢時代の貨幣政策

禰津加奈子 ミナンカバウ母系制社会の変容に関する一考察

古田 博司 中国農村家計に関する経済史的考察

——主に河北省の諸村落を中心として——

水野 哲夫 マホメット

——宗教思想の発展過程について——

吉本 淑子 台北樹林連氏の台湾への移住について

綿貫 和子 あやとり

修士論文（西洋史学）

松浦 明生 『叙任権闘争——カノッサの赦免に関する一考察』

平野 彰子 『イギリス革命における第五王国派——一六五一一五三年を中心として』

卒業論文（通信教育部）

吉田万寿子 伊万里焼の流通

佐藤 健也 西根堀の開拓

木村美佐子 聖徳太子における一考察——憲法十七条と

江口 穂 「フランス第三共和制初期におけるパリ・コミューン大赦論争、一八七一—一八七九」

岩崎 直子 「キリスト教的ユマニストとしてのエラスムス」
岩田真知子 「ブランキーその人と思想——」

小松原明二 「一九三一年のドイツ金融危機における外交政策に関する一考察」

小山真由美 「パリ・コミューンに於ける民衆運動の構造と国家の觀念」

望月 健次 「J・J・ルソーの教育論」

森山 啓子 「ドイツ農民戦争の社会的諸前提」

沼佐マヤ子 「デカブリスト運動」

佐藤 鉄夫 「パリ・コミューン」

白石 浩 「エジプト先王朝時代における墳墓形態に関する考

察」
竹市 康子 「旧約聖書『大洪水物語』、その起源と歴史的事実性についての考察」

修士論文（西洋史学）

福田 明子 仏教を中心にして

新井登久子 在地領主制の形成について
——地方官人の持つ公權の意義——

野下 康雄 天明二年部落寺院改宗一件と幕府の宗教政策

真宗中興の祖蓮如について

杉山美津子 林一弘 キリスト教布教に伴う南蛮文化の役割

日本の淫歎習俗起源考

三木 英雄 文禄、慶長の役における李氏朝鮮水軍の研究

河合 利近 清末の梁管超の教育観について

北守 進 産業革命——大工業の起源について——

小野 兼子 宗教改革者ジヤン、カルヴァン

坂倉 恵一 Hexateuch 伝承へのアプローチ

旧約聖書、創世紀、祭司伝承に表われた世界観